

地方創生関連交付金等事業評価シート

資料6

事業名	新商店街におけるにぎわい創出事業		事業期間	平成 29 年度 ~ 31 年度						
			所管課	商工労働室						
交付金事業の概要	<p>○地域経済の活性化、集客力の向上、観光地等誘致施設の創出に向けた取り組みとして、商店街向けにインバウンド対応セミナーを実施するほか、イルミネーションや街バル等のイベントを開催し、情報発信のためのホームページやアプリの制作を行う。</p> <p>○地域コミュニティの創出に向けて、商店街を中心に市内小中学生等とともに緑化活動を行う。</p> <p>○商店街を引っ張っていくリーダーを育成するためのセミナーやフォーラムを開催し、人材育成及び商店街組織の強化を図る。</p>									
事業の背景及び目的	<p>○ホテルルートイン和泉の開業により訪日外国人が増加する中、和泉中央線を軸にした新商店街「木楽座ストリート」が結成された。</p> <p>○商店街や小規模・個人経営者を育成、振興することにより、インバウンドや交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化、ひいては、沿道全体のブランド化、エリア価値の向上を目指す。</p>									
予算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	決算	内訳	金額(円)	内訳	金額(円)	
	報償費	1,183,000	役務費	20,000		報償費	544,800	役務費	0	
	消耗品費	40,000	使用料	170,000		消耗品費	21,064	使用料	81,000	
	食糧費	2,000	負担金	26,427,000		食糧費	1,599	負担金	26,424,535	
	印刷製本費	390,000				印刷製本費	72,036			
		計	28,232,000			計	27,145,034			
平成29年度の取組	取組①名称：まちの賑わい創出									
	取組の内容	<p>○商業者向けにインバウンド対策セミナーを開催した。</p> <p>・開催回数:3回、参加人数:142人</p> <p>○新商店街の賑わいを創出する各種イベントを開催した。</p> <p><イベント内容></p> <p>・街バル</p> <p>・和泉中央線沿道でのイルミネーション</p> <p>・キッズダンスフェスティバル・子供コンサート</p> <p>・特産品を活用した体験型イベント(さをり織り体験等)</p>				取組の意図・目的	<p>○接客術等のノウハウを商業者に伝え、訪日外国人の来訪を促進する。</p> <p>○イベントの開催等により、まちの賑わいを創出し、新商店街「木楽座ストリート」の認知度を向上を図る。</p>			
							取組の実績・成果	<p>○接客の仕方や免税店登録の仕方等を商業者に伝え、商業者のインバウンド対応を推進することができた。</p> <p>○街バルは、35店舗が参加し、180万円の売り上げで盛況であった。</p> <p>○イルミネーションの実施により、木楽座ストリーートの認知度を上げることができた。</p>		
	取組②名称：ホームページ及びスマートフォン向けアプリの制作									
	取組の内容	<p>○木楽座ストリーートのホームページ及びスマートフォン向けアプリを作成し、イベントや店舗情報等を掲載した。</p> <p>・アプリは、QRコードの読み込みでガチャができる仕組み(※)を導入した。</p> <p>(※)店舗のQRコードを読み、クーポン等が当選する。</p>				取組の意図・目的	<p>店舗やイベント情報を広く発信し、商店街エリアへの集客力の向上を図る。</p>			
							取組の実績・成果	<p>○アプリダウンロード数 743件</p> <p>○QRコード読込数</p> <p>店内:3,987件、店外:346件</p> <p>フリーQR(※1日1回のガチャ分):2,095件</p>		
	取組③名称：地域コミュニティの創出									
	取組の内容	<p>○木楽座ストリート沿道の清掃を実施した。</p> <p>・参加者数:36名</p> <p>○木楽座ストリート会員や児童、保護者等が協力し、花で街を彩る緑化活動の企画「みなはつフラワープロジェクト」を実施した。</p> <p>・参加者数:児童15名、保護者15名、他22名</p>				取組の意図・目的	<p>○商店街と地域がつながる新たな地域コミュニティを創出し、魅力あるまちづくりを進める。</p>			
							取組の実績・成果	<p>○地域を巻き込んだ緑化活動を実施し、商店街の認知度を高めることができた。</p>		
	取組④名称：人材の育成									
取組の内容	<p>○和泉市の主催で、商店街の人材を育成するためのフォーラムやセミナーを開催した。</p> <p><人材育成フォーラム></p> <p>講演内容:「隠れた地域資源を発掘し、皆を巻き込むまちづくり」等</p> <p>参加者数:101人</p> <p><人材育成セミナー></p> <p>テーマ:商店街の次世代リーダーを発掘・育成</p> <p>参加者数:延べ68人</p>				取組の意図・目的	<p>○新商店街の店主等を対象に、セミナーやフォーラムを開催し、商店街を引っ張っていくリーダーを育成する。</p>				
						取組の実績・成果	<p>○必要とされる商店街になるためには、何が必要で、何ができるかを考えるきっかけにすることができた。</p> <p>○セミナー参加者同士で連帯感が生まれ、連携して商店街を引っ張っていく人材を発掘・育成することができた。</p>			

KPI (重要業績評価指標)	交付金対象事業	KPI①: 他府県からの来訪者数			
		現状値 (平成28年度)	目標値 (平成29年度)	実績値	【参考】数年後の目標値 (平成31年度)
		0	6,000	5,130	12,000
		KPI②: 新規創業数			
		現状値 (平成28年度)	目標値 (平成29年度)	実績値	【参考】数年後の目標値 (平成31年度)
		0	2	5	5
		KPI③: 平成28年度対比のインバウンド買物客数が向上した店舗数			
		現状値 (平成28年度)	目標値 (平成29年度)	実績値	【参考】数年後の目標値 (平成31年度)
		0	3	1	15
		総合戦略における位置付け		基本目標	市内の商工業に活力があると感じる市民の割合
		数値目標	H25 19.3%→H31 25.0%		
所管課の評価	平成29年度における取組の効果	評価	評価理由		
		B 効果的だった	<p>○イルミネーションや街バルの実施により、まちの賑わいを創出することができ、木楽座ストリートを広く周知することができた。</p> <p>○ホームページとアプリを導入したことにより、「木楽座ストリート」の情報を広く発信することができるようになった。</p> <p>○「木楽座ストリート」の認知度が向上し、加入店舗数も増加した。</p> <p>・店舗件数: 100件 (H29.4.1現在) ⇒ 155件 (H30.4.1現在)</p> <p>○沿道で新たに5店舗の出店があり、エリアの活性化や沿道のブランド力の向上に寄与した。</p>		
	目標値達成状況にかかわる要因分析	達成状況	要因分析		
		3 未達成	<p>○イベントの実施等による沿道の魅力創出が、集客につながることへの期待感を高め、新規創業数の増加につながったと考えられる。</p> <p>○他府県からの来訪者数が目標値に達成しなかった主な要因は、事業実施が遅かった(街バルなどの事業実施が年度後半の11月以降であった)ことや周知不足が考えられる。</p> <p>○おもてなしや免税等についてインバウンド対応セミナーを開催し、受講者から一定の評価を得たものの、事業者が実践するまでには至らず、インバウンド買物客数の向上につなげることができなかった。</p>		
交付金対象事業の必要性	評価	評価理由			
	②維持(現状)	<p>○商店街のブランド力向上及び浸透のため、イルミネーションや街バルの取り組みを一過性のものにせず、継続して取り組む必要がある。</p> <p>○また、商店街の活性化には、人材の発掘・育成が必要不可欠であり、取組が始まったところで十分ではないことから、商店街リーダーの育成も継続して実施していく必要である。</p>			
平成29年度取組成果・効果を踏まえた今後の事業展開		<p>【平成30年度の事業展開】</p> <p>平成29年度の事業を実施したことで商店街組合として、一定の組織化ができた。30年度については、組織としてひとつの目的を掲げ、各事業を実施していく。</p> <p>具体的には、すべての事業において「インバウンドの取り込み」を主眼におき各事業を行う。また、組織として自立できる体制がまだまだ整っていないことから、独自事業等による運営資金の調達などの助言を行っていく。</p> <p>【平成31年度の事業展開】</p> <p>平成31年度も引き続き、インバウンドの取り込み対応を主眼におき、事業を実施していく。</p>			